自彊前進

題字　西村直子

NO. １　令和４年４月７日（木）
新潟大学附属新潟中学校　学校だより
文責　教頭

※　自彊前進‥自ら努め励み、前に進むこと
（校歌３番の文言から）

令和４年度の教育活動が始まりました！

昨年度の３学期終業式以降、限られた日数でしたが、部活動、生徒会役員による新年度の準備、ときわ体育祭に向けた各学年、学級の準備が対面により、また時にはZoom等を活用し、着実に進められてきました。何事も大きな“飛躍”の前には、用意周到な“助走”が必要ですが、この春休みがまさにその“助走”期間でした。

本日、新たに６名の先生方をお迎えし、新年度の教育活動がスタートしました。着任式や始業式における生徒の温かい気持ちや新年度にかける前向きな気持ちが、態度から伝わってきました。

生徒一人一人の真剣な態度から今年度に向けた前向きな姿勢が伝わってきます。

今年度も附属新潟中学校の大きな“飛躍”を楽しみにしています！

はじめまして、新入生！

＜はげましのことば＞

つぼみも膨らみ、開花を目前にしてエネルギーに満ちた桜の樹が皆さんを迎えています。この佳き日に入学された１２０名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日は感染拡大防止のため、参加者や時間を制限した中での式典となりましたが、新入生の新たな門出に、ご多用の中ご臨席を賜りました新潟大学附属学校部長　佐藤　哲夫様、誠にありがとうございます。そして保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。

新入生の皆さん、今日は大切な出発点です。この会場は２、３年生が心を込めて準備しました。皆さんの入学を在校生及び職員一同心待ちにしていました。当校を選択した皆さんの胸には大きな夢と希望でいっぱいのことと思います。皆さんは、未来を切り拓いて力強く生きていくために、失敗を恐れず様々なことに挑戦して、社会で活躍・貢献できる力を身に付けてください。

入学にあたり、大切なことを二つ述べます。

１つ目は学習についてです。

学習とは、人から教えてもらう物ではなく、自ら探究し学びとることだと考えて下さい。難しい問題や正解の存在しない問題にも諦めずに挑戦しましょう。

２つ目は、人とのかかわりについてです。

附属新潟中学校では、歴史ある学校行事や活動がたくさん用意されています。そこで自分を成長させるには、コミュニケーション力が必要です。自分の考えをしっかりもち、相手の願いや思いを受け止め、互いを認め合い、支え合うことが大切です。習慣や文化の異なる人とも折り合いをつけることのできる人へ成長して下さい。附属新潟中学校は、国内だけでなく、世界の様々な分野で活躍している方々を多く輩出している学校です。

新入生の皆さんが当校の教育目標である「生き方を求めて学ぶ生徒」を目指して責任ある行動をとり、充実した中学校生活を送ってくれることを願っています。

これより三年間、職員は皆さんの自立と成長のために精一杯支えていきます。これから始まる中学校生活を、皆さんの人生の記憶に刻まれるような輝かしい日々にしましょう。

最後に保護者の皆様、ご来賓の佐藤哲夫附属学校部長様、そして本日ご参列いただくことができなかった当校の多くのサポーターの皆様からの温かなご支援、ご協力をお願い申し上げ、はげましのことばといたします。

令和４年４月７日
新潟大学附属新潟中学校
校長　　皆川　宏志

学校だよりのタイトルは、校歌の３番の歌詞にある『自彊前進』です。『自ら努め励み、前に進むこと』という意味です。題字は、当校の書道講師の西村直子先生にお願いしました。生徒一人一人が自ら努力し、それぞれの歩みを前に進め、学校全体として大きく前進する、今年度もそんな一年になればと思います。我々教師も精一杯努力し、生徒の成長をサポートしていきます。何卒よろしくお願いいたします。